

渡辺復興大臣が岩沼を視察

11月19日、渡辺博道復興大臣が岩沼市を訪れ、復興の状況を視察しました。

渡辺大臣は、千年希望の丘（相野釜公園）の慰霊碑で献花を行い、黙とうを捧げました。その後、1号丘から海岸部の復興状況を確認し、交流センターで東日本大震災時や復興についてのパネルを見学しました。



▲千年希望の丘を視察された渡辺大臣(右)

応急対応をより強固に

建設産業同友会と協定締結

11月22日、岩沼建設産業同友会（渡邊大作会長）と、「災害時における応急措置の協力に関する協定」を締結しました。

全国各地で大規模災害が発生していることから、従来の協定に加え、災害発生のおそれがある段階からの巡視・点検などの対応を盛り込んでいます。



▲協定書を取り交わす渡邊会長(左)と菊地市長

交通栄誉章を受章

11月7日、高橋たづよさん（志賀中）が（一財）全日本交通安全協会の交通栄誉章「緑十字銅章」を受章されました。

多年にわたる交通事故の防止と交通秩序の確立への貢献が認められての受章となりました。



▲受章した高橋さん

寄付・寄贈いただきました

千年希望の丘の整備へ

駒澤大学高等学校から寄付

11月11日、市民会館で開催された「岩沼市民文化芸術祭」において、駒澤大学高等学校（東京都）から、千年希望の丘の整備に係る寄付金の目録が贈呈されました。

今回の寄付は、生徒会を中心に、同校の文化祭を通じて集めたものです。同校からは、これまでも寄付のほかに、秋の収穫祭などでのチアリーディング部・ダンス部の皆さんによる演技披露や、被災した玉浦西地区の住民との交流、植樹祭への参加など、平成24年から毎年、さまざまな面でご支援をいただいています。



▲贈呈式と応援演技の披露

新米を給食で味わおう

北長谷米米倶楽部から新米寄贈

11月22日、市内北長谷地区の北長谷米米倶楽部から岩沼西小学校へ、ひとめぼれ6袋180キが寄贈されました。新米のおいしさを子どもたちに味わってほしいと、今年で4回目の寄贈となります。

給食委員の5・6年生4人が採れたてのお米が入った米袋を受け取りました。



▲米米倶楽部の宍戸嘉克さん(後列左)と大泉吉重さん(後列中央)

アサヒグループホールディングス(株)から寄付

11月21日、アサヒグループホールディングス(株)（本社：東京都）から朝日山公園の遊具整備のための寄付をいただきました。



▲垣内康志仙台支社長(右)



平成30年第7回市議会定例会
が12月4日に開会し、初日に菊
地市長が市政の概要について報
告しましたので、主なものを掲
載します。

体育施設などに係る指定管理者募集

体育施設などにおける利用者
サービスの向上および効果的かつ
効率的な施設運営を図ることを目
的として、指定管理者の募集を
行ったところ、3者からの応募が
あったことから、指定管理者選定
委員会において、提案内容の審査
を行い、指定管理者の候補者を選
定しました。

指定管理者による平成31年4月
からの業務開始に向けて、関係条
例の改正案および指定管理者の指
定議案ならびに債務負担行為など
の補正予算案を本定例会に提出し
ています。

公共施設の使用料などの見直し

少子高齢化と人口減少社会のさ
らなる進展に伴い、今後、公共施
設の維持管理費や更新費用の確保
が、困難となることが想定される
中、震災などの影響もあり、多年
にわたり、改定しないままとなっ
ていた公共施設の使用料などに
ついて、平成31年10月の消費税率の

改定に合わせ、見直しを行って
きたいと考えています。

見直しに当たっては、負担の公
平性、算定根拠の明確化、近隣自
治体とのバランスなどに配慮しな
がら、検討を進めていきます。

東保育所の再建

子育て支援機能を含めた複合施
設として、建設を行っている東保
育所については、本体工事が平成
31年1月下旬、外構工事が2月下
旬の完成に向け、順調に進んでい
ます。

平成31年4月の開所に向け、新
たな保育所および子育て支援セン
ター設置に係る関係条例の改正案
を本定例会に提出しています。

住民票などのコンビニ交付

現在、平日に来庁することが難
しい方などについては、郵便請求
などによる各種証明書の発行を
行っていますが、さらなるサービ
ス向上を図るため、全国のコンビ
ニエンスストアの端末から、マイ
ナンバーカードを利用して住民票
の写しや印鑑登録証明書などを取
得できるシステムを平成31年中に
導入することとし、所要の経費を
補正予算案に計上しています。

朝日山公園の遊具整備

多くの利用者が来園する朝日山

公園については、施設の老朽化が
課題となっていたことから、昨年
度より国の交付金を活用し、順次
施設更新を行ってきました。

また、遊具についても、企業か
らいただいた寄付金により、平成
26年度からの4年間で複合大型遊
具などを整備してきたところで
が、今般、5回目となる遊具整備
の寄付金をいただいたことから、
今年度も、この寄付金を活用し、
遊具を設置する予定としていま
す。

朝日竹の里線の整備など

関係地権者の方々のご協力によ
り進めてきました朝日竹の里線の
整備などについては、道路用地の
取得が、平成30年9月30日時点で
約67%の進捗率となったことか
ら、取得済用地の整地や側溝工事
に着手しました。

平成31年度は、下水道雨水幹線
整備や上・下水道の埋設工事を行
い、早期の完成と供用開始を目指
すこととしており、その実現に向
け、引き続き、関係機関との調整
を進めていきます。

※詳しくは、市ホームページを
ご覧ください。

2020年東京オリンピック・
パラリンピック競技大会(復興五輪)
南アフリカ共和国の「復興あり
がとうホストタウン」に決定

11月2日、市は南アフリカ共和国の「復
興ありがとうホストタウン」として、国が
ら決定されました。今後、交流の実現に向
けて、駐日南アフリカ共和国大使館などに
働きかけていきます。

市では、東日本大震災に
際し、救助活動や仮設住宅
への慰問などの支援をいた
だいた同国への感謝を伝え
るとともに、復興状況を発
信することで、震災の風化
を防ぎたいと考えています。



これからいわぬま市民夏まつりなどに同
国出身の太鼓奏者を招いて被災者の皆さん
と交流したり、救助隊関係者が来日した際
には復興状況を視察することを検討してい
ます。また、五輪終了後には、同国選手と
市内競技者や子どもたちとの交流に取り組
んでいく予定です。

「復興ありがとうホストタウン」とは

東日本大震災の被災3県(宮城県、岩
手県、福島県)の自治体が、支援をいた
だいた海外の国・地域に復興した姿を見
せ、住民との交流を行うことが目的。

問/復興創生課 (☎内線526・528)